

BRT・新バスシステムを契機とした 持続可能なバス交通体系の構築

【新潟交通株式会社 / 交通ジャーナリスト 鈴木 文彦 / 新潟市】

新潟市が目指す公共交通ネットワークと施策展開の3つの視点



公共交通施策展開の3つの視点

中心アクセスの強化

各区域から中心部へ向かう既存のバス路線や鉄道について、運行回数増加や乗降効率の改善等の対策を講じることで、より便利で快適な交通環境を目指します。

生活交通の確保維持・強化

高齢者をはじめ子育て世代や障害者など、公共交通を必要とする層に対応して運行することで、住民の生活を確保し、地域内の移動を便利にします。

中心部での移動円滑化

定額貸付方式により、乗車券・青山駅に近接したバスシステム(BRT)を導入します。乗車券の交通渋滞の解消や、中心部の交通の円滑化を図り、多方面へ波及させます。

BRT・新バスシステムの取り組み



利用者が減り、バスが減り続ける悪循環に歯止めをかけるために…
平成27年9月「BRT・新バスシステム」をスタート!



▶ 郊外路線を中心とした増便効果

BRT(定額貸付方式)を導入し運行本数の増移



▶ 7つの新設路線の設定



▶ 評価委員会(第三者委員会)とPDCAサイクル

BRT・新バスシステム改善目安箱

運行方針への反映

新バスシステム事業運営協議会

- 運行方針の協議・決定
 - 運行計画策定の作成
 - 市民・利用者への説明
- 評価 ↓ 改善

新バスシステム事業評価委員会

- 新バスシステム事業の運営状況
 - 新バスシステム事業の計画・検証
 - 事業の改善に向けた意見の提出
- 改善 ↓ 評価

各区域の生活交通改善プラン

生活交通の改善

持続可能なバス交通を目指して〈サステナビリティ×モビリティ〉

新潟交通 新潟市

平成19年度

▶オムニバスタウン事業
「人と環境にやさしい利用環境の実現に向けて」

○基幹バスの運行開始 ○バス停上屋の整備 ○ICカード「ryūto」導入 ほか



平成24年度

▶市民参加の
ワークショップや広報紙



平成27年度

▶BRT・新バスシステム運行開始
「BRT導入と
ゾーンバスシステム
による路線再編」



▶ファミリー層向けに実施した
バス車両展示会、MMブース

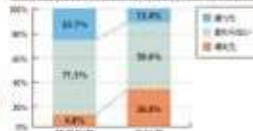


平成28年度

▶「シニア半わり」の本格事業化
「高齢者のバス運賃を半額にして
外出を促進」

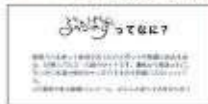
対象者の18%にあたる 利用者の36%がバスでの
3万5千人が参加! お出かけ回数増加!

バスで参加する回数と、前1年較ぶ増加率



平成29年度

▶「ふらばすサイト」を開設
「SNSとの連携など新たなMM発信ツールの開拓」



▶バス車両整備棟
見学ツアー



平成30年度

▶スタンプラリーの実施
「将来の利用者となる子どもたちにむけたMM」



▶自由研究キット



▶公募デザインによる区バス(コミュニティバス)
とバリアレス縁石の導入



BRT・新バスシステム導入以降のバス利用者数の推移



これまで
長く続いてきた
バス利用者の減少は
増加傾向に
転じました!

BRT・新バスシステム導入以降に新設した路線のバス利用者数

